第１３５回化学コロキウム／（大学院GP・物理-化学合同セミナー）

日時　１０月１０日（月）１５:００-１６:００

教室　８－３０９号室

講師　冨田成夫先生　（筑波大学数理物質科学研究科）

演題　放射線による液滴生成

地球環境と太陽活動との相関は古くから人類の関心のひとつであった。デンマークのSvensmarkらは太陽活動と地球上の低層の雲による被服率の変動に強い相関が見られることを報告している。これは、太陽風により地球上に降り注ぐ高エネルギー宇宙線の強度が変化し、大気中に作られるイオンの量が変化したためと考えられるが、そのメカニズムは未知の部分が多く、その真偽はいまだに明らかになったとはいえない。

　我々は、宇宙線の代わりに加速器から得られるイオンビームを用い、ガス中での放射線照射によって水液滴を生成し、その成長メカニズムに関する研究を行い、液滴生成に寄与するイオン種の特定や、微量成分ガスの役割についての知見を得ることを目的としている。セミナーでは実験の進行状況について報告する。